BUFFALO

USB CD-RW ドライブ

CDRW-446USB

ユーザーズマニュアル

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

- Windows搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
  A:3.5インチフロッピーディスクドライブ
  C:ハードディスクドライブ
- 本製品を「CDRW」と表記しています。
- 文中[　]で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。
- CD-ROM、音楽CD、CD-RW／CD-Rメディアを合わせて「CD」と表記しています。
- 付属のWinCDRユーザーガイドおよびMacCDRユーザーガイドには、CD-RWに関しての用語集が記載されています。本書に意味が分からない用語があったときは、WinCDRユーザーガイドまたはMacCDRユーザーガイドの用語集を参考にしてください。

著作権について

著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。CDRWを使用しての複製の際は、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。
また、本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記にかかわらず弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
- 一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。

■ 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外で使用した場合の運用結果につきましては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
また弊社は、本製品に関して海外での保守および技術サポートは行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容（例：⚡感電注意)が描かれています。
⊘	○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 ○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：分解禁止）
●	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容（例：プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

強制
本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカおよび周辺機器メーカが提示する警告や注意指示に従ってください。

分解禁止
本製品の分解、改造、修理を自分でしないでください。
火災や感電の恐れがあります。

禁止
AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。
海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強制
電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

禁 止

電源コードを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。

火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。

- 設置時に、電源コードを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしなでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源コードを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源コードが傷んだら、弊社インフォメーションセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品の取り付け、取り外しをするときは、本製品およびパソコン、周辺機器の電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

電源プラグをコンセントに接続したまま取り付け、取り外しを行うと、感電および故障の原因となります。

強 制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする危険があります。

強 制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強 制

濡れた手で本製品に触れないでください。

電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐに電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

電源プラグを抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐに電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁 止

レーザー光線を直視しないでください。

トレーを開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。レーザー光線が目に入ると視覚に障害を及ぼす恐れがあります。

強 制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させるおそれがあります。

⚠注意

強制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカの定める手順に従ってください。

禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- 強い磁界、静電気が発生するところ
- 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
- ほこりの多いところ
  →故障の原因となります。
- 振動が発生するところ
  →けが、故障、破損の原因となります。
- 平らでないところ
  →転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 直射日光が当たるところ
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ
  →故障や変形の原因となります。
- 漏電、漏水の危険があるところ
  →故障や感電の原因となります。

強制

本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。

データが消失、破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制

各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。

禁止

本製品の上に物を置かないでください。

傷がついたり、故障の原因となります。

注意

CD-ROM、音楽CD、CD-Rメディア、CD-RWメディア（以後CDと表記）は次の点に注意して大切にお使いください。

- 直射日光を当てないでください。
- シンナーやベンジン等の有機溶剤を使ってお手入れをしないでください。
  汚れは、少量の水で湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。必ず、中心から外側へ向って軽く拭き取ってください。
- 表面に傷を付けたり、テープを貼ったり、文字を書いたりしないでください。
- 高温、多湿になる場所や、ほこりの多い場所に置かないでください。
- 表面に手を触れないでください。
  両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ってください。
- 持ち運ぶときは、必ずプラスチックケースに入れて大切に取り扱ってください。

禁止

ひびわれや変形、補修したCDは使用しないでください。

本製品内部で砕けて、けがや故障の恐れがあります。

禁止

CD-RWメディアおよびCD-Rメディアの反射層が剝離する原因となりますので、次のことは行わないでください。

- 表面（レーベル面）に傷を付けないでください。
- メディア同士を重ねないでください。
- レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなどの先の硬い筆記用具を使用しないでください。
- シールやラベルなどを貼らないでください。

禁止

本製品にCDを入れたまま移動させないでください。

本製品の動作中または、CDを本製品に入れた状態で移動しないでください。
CD、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は、必ずCDを取り出し、電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

禁止

通風口やファンをふさいだり、他の機器と密着させないでください。

故障の原因となります。

強制

定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

本製品内部のレンズ等に、ほこりやたばこの煙等が付着し、CDの再生が正常にできなくなったり、書き込みができなくなることがあります。市販のレンズクリーニングキットで、定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

注意

ヘッドホンをご使用になる場合、ボリュームを大きくしないでください。

大きな音で長時間ヘッドホンをご使用になると、聴覚障害の原因となります。

禁止

シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

強制

本製品の電源スイッチは、パソコンよりも先にONにしてください。
一度OFFにした電源をONにし直すときは、少なくとも数秒待って行ってください。

本製品の故障、データの消失・破損の恐れがあります。

禁止

本製品のアクセスランプが次の状態の時は、電源スイッチをOFFにしたり、パソコンを再起動しないでください。データが消失、破損する恐れがあります。

- WRITINGランプが点灯または点滅している
- DISC INランプが点灯または点滅している

強制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目 次

1 はじめに

CDRWの特長や、メディアへの書き込みに必要なパソコン環境など、事前に知っておいていただきたいことを説明しています。

特長

● CD-R/RWメディアに書き込み可能
CDRWは、CD-RWメディアとCD-Rメディアにデータを書き込めます。転送速度は次のとおりです。

・書き込み時：
Windows ....600KB/sec（4倍速）
300KB/sec（2倍速）
Mac OS ....300KB/sec（2倍速）

・読み出し時：　最大900KB/sec（6倍速）

● USBダウンストリームポートに接続可能
パソコンのUSBダウンストリームポートに接続できます。

● MP3データファイルから、音楽CD（CD-DA）を作成できます。

● CDのバックアップが可能
CD-ROMドライブから直接バックアップするオンザフライバックアップと、CDRW1台だけでも可能な方法（ハードディスクにCDのイメージを作成する方法）があります。

● 多彩なフォーマット形式をサポート
次のCDのフォーマット形式をサポートしています。

- CD-DA（音楽CD）（*1）
- CD-ROM（Mode1）
- CD-ROM XA
- Photo CD（*2、*3）
- Video CD（*2、*4）
- CD Extra
- HFS（*5）
- Hybrid(*5)

*1 CDRWは、CD TEXT（文字情報）の書き込みと読み出し（表示）はできません。

*2 読み出しには、再生ソフトウェアが別途必要です。

*3 JPEGファイルなどの画像データは、Photo CD形式ファイルへは変換できません。

4 Video CD形式ファイルへの変換にはVideo CDの規格に準拠したファイル形式（.MPGなど）でキャプチャしたデータが必要です。キャプチャには市販のキャプチャボードを使用してください。

*5 MacCDRでのみ作成可能です。

必要なパソコン環境

● DOS/V機、PC98-NXシリーズ

- CPU .... Pentium133MHz以上(*1)
- メモリ .... 32MB以上（64MB以上推奨）
- OS Windows98
- ハードディスク空き容量
  WinCDRのインストール用に約8MB
  書き込み時の一時的な作業領域として約50～800MB（*2）

*1 4倍速で書き込むには、Pentium II 233MHz以上が必要です。

*2 書き込むデータの容量によって異なります。ただし、オンザフライでの書き込み時には作業領域を使用しません。

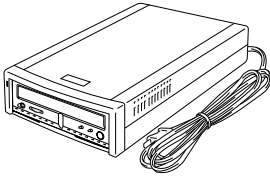
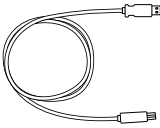
● PowerMac、iMac、iBook、PowerBook

- アプリケーションRAM ... 16MB
- メモリ .... 32MB以上（64MB以上推奨）
- OS .... Mac OS8.6以降
- ハードディスク空き容量
  MacCDRのインストール用に約5MB
  書き込み時の一時的な作業領域として約50～800MB（*）

* 書き込むデータの容量によって異なります。ただし、オンザフライでの書き込み時には作業領域を使用しません。

パッケージの内容

パッケージには、次の物が梱包されています。万一、不足している物がありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なる場合があります。

●CDRW（本体） 1台

●USBケーブル（1m） 1本

●CDRW-446USBドライバディスク for Windows98
（フロッピーディスク） 1枚

●CD-Rメディア（650MB/74分） 2枚

●ユーザーズマニュアル（本書） 1冊

●ユーザー登録はがき、保証書
（株式会社メルコ） 1枚

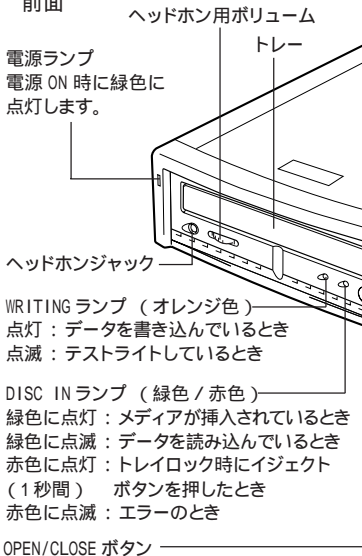
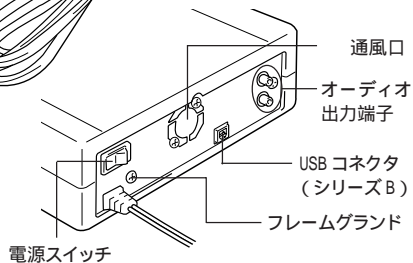
※ ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は、大切に保管してください。

※ 別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

●WinCDR、MacCDR
- CD-ROM 1枚
  （ハイブリッドCDなので、WindowsでもMac OSでも使用できます。）
- WinCDRユーザーガイド 1冊
- MacCDRユーザーガイド 1冊

※ WinCDRユーザーガイド、MacCDRユーザーガイドの巻末には、お客様登録カード（株式会社アプリックス）がとじ込まれています。必要事項をご記入の上、必ずご返送ください。

各部の名称

●前面

●背面

⚠注意 **CDRWは図のように横置きで設置してください。縦置きでは使用できません。**

2 セットアップ

CDRW をパソコンに取り付ける手順や CDRW の使いかたについて説明しています。

セットアップ手順

CDRW のセットアップ手順は次のとおりです。

＜Windows搭載パソコン＞

CDRWにUSBケーブルを接続する

▼

CDRWの電源スイッチをONにする

▼

パソコンの電源スイッチをONにし、CDRWを接続する【P11】

▼

ドライバをインストールする【P11】

▼

「WinCDR」をインストールする【別冊「WinCDRユーザーガイド」参照】

▼

WinCDRを起動する

＜Macintosh＞

パソコンの電源スイッチをONにする

▼

MacCDRをインストールする【別冊「MacCDRユーザーガイド」参照】

▼

CDRWにUSBケーブルを接続する

▼

CDRWの電源スイッチをONにする

▼

パソコンにCDRWを接続する【P18】

▼

MacCDRを起動する

取り付けの前に

注意事項

● パソコンの電源スイッチをOFFにする前に、ハードディスク内の大切なデータを他のメディア（フロッピーディスク、MOディスクなど）に保存し、すべてのアプリケーションを終了してください。

● パソコンの電源スイッチをOFFにする前にアプリケーションをすべて終了し、ハードディスク内のデータを他のメディア（フロッピーディスクなど）にバックアップしてください。

● CDRWはUSBハブに接続して使用しないでください。正常に書き込みができないことがあります。

● CDRWはパソコンのUSBコネクタに接続します。パソコン本体にUSBコネクタが装備されていないDOS/V機やPC98-NXシリーズを使用している場合は、弊社製USBボードUCI-P2（別売）を使用してください。

● 1台のパソコンに、USB接続のCD-RWドライブ（本製品を含む）を2台以上接続して使用することはできません。

● CDRWは、パソコン本体の省電力機能（サスペンド機能、スリープ機能など）には対応していません。パソコンの省電力機能は必ず無効に設定してください。

次のページへ続く

● パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

● パソコンおよび本製品は精密機器です。「安全にお使いいただくために必ずお守りください」および「使用時の注意」【P19】を必ず参照してください。

● パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意や各種設定は、各マニュアルを参照してください。

● 本製品を使用するためには次の物が必要です。事前に用意してください。
・パソコン本体のマニュアル
・本製品および付属品

NEC PC98-NX シリーズを使用しているとき

CyberTrio-NXをアドバンストモード以外のモードで使用していると、CDRWのドライバをインストールできないことがあります。ドライバをインストールする前に、必ずアドバンストモードに変更してください。

・モードの確認方法
タスクバーに表示されているCyberTrio-NXのインジケータ の色で確認できます。

赤	アドバンストモード	設定を変更する必要はありません。
黄	ベーシックモード	アドバンストモードに設定を変更してください。
緑	キッズモード／カスタムモード	アドバンストモードに設定を変更してください。

・「CyberTrio-NX」のモードの変更方法
再起動後もアドバンストモードになるように設定を変更します。詳しい手順はパソコン本体のマニュアルを参照してください。
① [スタート]－[プログラム(P)]－[CyberTrio-NX]－[Go To アドバンストモード]の順に選択します。アドバンストモードに切り替わります。
② [スタート]－[プログラム(P)]－[CyberTrio-NX]－[CyberTrio-NX セットアップ]の順に選択します。
③ [CyberTrio-NXのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。[アドバンストモード]を選択して[OK]ボタンをクリックします。

以上でアドバンストモードに設定されました。
本製品のドライバをインストールした後はアドバンストモード以外のモードも使用できます。任意のモードに変更してください。

CyberTrio-NX

CyberTrio-NXは、パソコンを使う人ごとにWindows98の動作範囲やアクセスできるフォルダを限定します。詳しくはパソコン本体のマニュアルを参照してください。

Windows搭載パソコンでのセットアップ手順

CDRWの接続とドライバのインストール

CDRWをパソコンに接続します。

1 付属のUSBケーブルをCDRWのUSBコネクタに接続します。

USBケーブルの2つのコネクタは、それぞれ形状が異なります。形状をよく確認して接続してください。

＜USBケーブルのコネクタ形状＞

シリーズA
（パソコン側に接続）

シリーズB
（CDRWに接続）

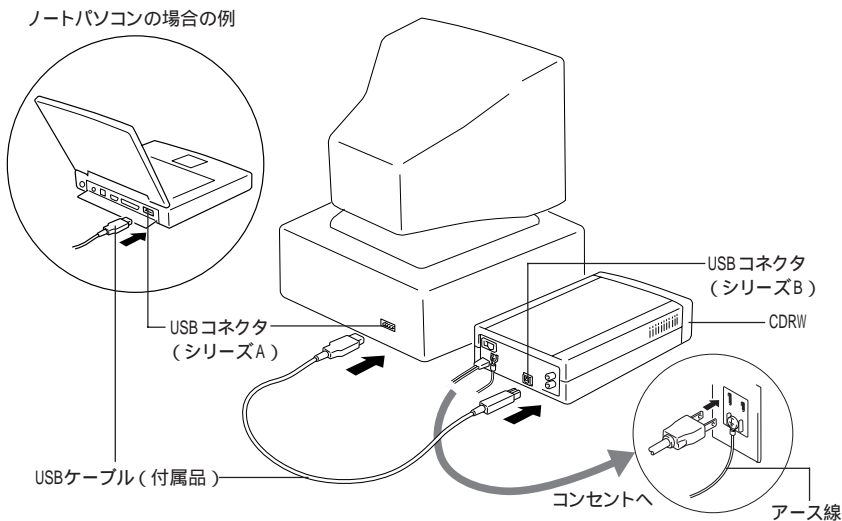
2 CDRWの電源コードをコンセントに接続します。

3 CDRWの電源スイッチをONにします。

4 パソコンの電源スイッチをONにします。

5 パソコンのUSBコネクタ（シリーズA）にUSBケーブルを接続します。

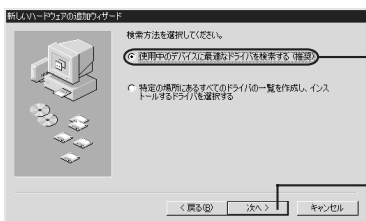
CDRWが認識され、[新しいハードウェアの追加ウィザード]が自動的に起動します。

⚠注意 CDRWは必ずパソコンのUSBコネクタに接続してください。USBハブには接続しないでください。

メモ [新しいハードウェアの追加ウィザード]が起動しない場合は、【P14「[デバイス マネージャ]でのインストール」】を参照してドライバをインストールしてください。

次のページへ続く

6

［次へ >］ボタンをクリックします。

7

① ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)］をクリックし、・を付けます。

② ［次へ >］ボタンをクリックします。

8

① CDRW 付属のドライバディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。

② ［フロッピーディスクドライブ(F)］をクリックし、チェックマーク（✓）を付けます。

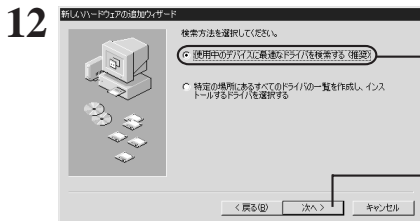
③ ［次へ >］ボタンをクリックします。

9

［次へ >］ボタンをクリックします。

10

［完了］ボタンをクリックします。

次のページへ続く

11

［次へ >］ボタンをクリックします。

12

① ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)］をクリックし、・を付けます。

② ［次へ >］ボタンをクリックします。

13

① CDRW付属のドライバディスクがフロッピーディスクドライブにセットされていることを確認します。

② ［フロッピーディスクドライブ(F)］をクリックし、チェックマーク（✓）を付けます。

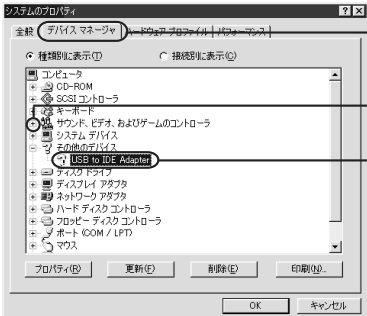
③ ［次へ >］ボタンをクリックします。

14

［次へ >］ボタンをクリックします。

15

［完了］ボタンをクリックします。

以上でドライバのインストールは完了です。

正常にインストールされると、［デバイス　マネージャ］に2つのデバイス(USB Bridge Module、USB Strage Adapter)が追加されます。【P17】

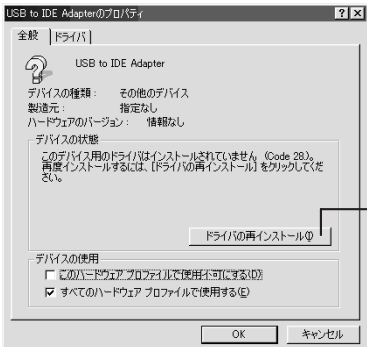
［デバイス マネージャ］でのインストール

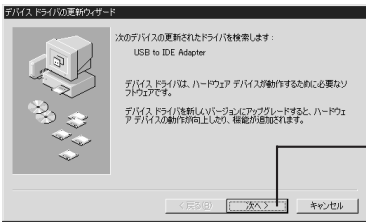
［新しいハードウェアの追加ウィザード］が起動しなかったときや、インストール手順を中断してしまったとき、付属のドライバディスクを使用せずにインストール手順を終了させてしまったときは、CDRWをパソコンに接続しても［新しいハードウェアの追加ウィザード］が起動しなくなります。その場合は、次の手順でインストールしてください。

1 **パソコンとCDRWの電源スイッチをONにし、CDRWをパソコンに接続します。【P11】**

2 **デスクトップ画面上の［マイ コンピュータ］アイコンにマウスのカーソルを合わせ、右ボタンをクリックします。**

3 **表示されたメニューから［プロパティ(R)］を選択します。**

4

① ［デバイス マネージャ］タブをクリックします。

② ［その他のデバイス］の ⊞ をクリックします。

③ 表示された［USB to IDE Adapter］をダブルクリックします。

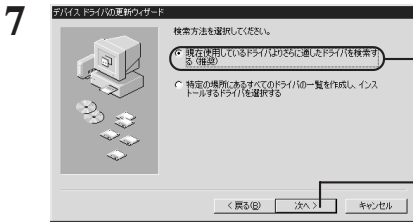
5

［ドライバの再インストール(I)］ボタンをクリックします。

6

［次へ >］ボタンをクリックします。

次のページへ続く

7

①［現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)］をクリックし、・を付けます。

②［次へ>］ボタンをクリックします。

8

① CDRW付属のドライバディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。

②［フロッピーディスクドライブ(F)］をクリックし、チェックマーク（✓）を付けます。

③［次へ>］ボタンをクリックします。

9

［次へ>］ボタンをクリックします。

10

［完了］ボタンをクリックします。

11

［閉じる］ボタンをクリックします。

次のページへ続く

12

新しいハードウェアの追加ウィザード

次の新しいドライバを検索しています：

USB Bridge Module

デバイス ドライバは、ハードウェア デバイスが動作するために必要なソフトウェアです。

< 戻る(B)　次へ >　キャンセル

［次へ >］ボタンをクリックします。

13

新しいハードウェアの追加ウィザード

検索方法を選択してください。

使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)

特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する

< 戻る(B)　次へ >　キャンセル

① ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)］をクリックし、・を付けます。

② ［次へ >］ボタンをクリックします。

14

新しいハードウェアの追加ウィザード

新しいドライバは、ハード ドライブのドライバ データベースと、次の選択した場所から検索されます。検索を開始するには、[次へ] をクリックしてください。

フロッピー ディスク ドライブ(F)

CD-ROM ドライブ(C)

Microsoft Windows Update(M)

検索場所の指定(L):

A:¥WIN9X¥DOSV

参照(R)...

< 戻る(B)　次へ >　キャンセル

① CDRW 付属のドライバディスクがフロッピーディスクドライブにセットされていることを確認します。

② ［フロッピーディスクドライブ(F)］をクリックし、チェックマーク（✓）を付けます。

③ ［次へ >］ボタンをクリックします。

15

新しいハードウェアの追加ウィザード

次のデバイス用のドライバ ファイルを検索します。:

USB Bridge Module

このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができました。別のドライバを選択するには、[戻る] をクリックしてください。[次へ] をクリックすると続行します。

ドライバのある場所：

A:¥SPD2WDM.INF

< 戻る(B)　次へ >　キャンセル

［次へ >］ボタンをクリックします。

16

新しいハードウェアの追加ウィザード

USB Bridge Module

新しいハードウェア デバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。

< 戻る(B)　完了　キャンセル

［完了］ボタンをクリックします。

以上でドライバのインストールは完了です。

正常にインストールされると、［デバイス　マネージャ］に2つのデバイス（USB Bridge Module、USB Strage Adapter）が追加されます。【P17】

インストール結果の確認

正常にインストールされると、デバイスマネージャに次の2つのデバイスが追加されます。

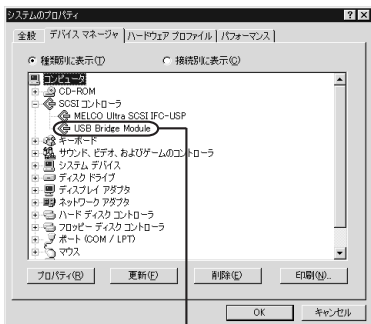
システムのプロパティ

全般 | デバイス マネージャ | ハードウェア プロファイル | パフォーマンス

◉ 種類別に表示(T)　○ 接続別に表示(C)

- コンピュータ
  - CD-ROM
  - SCSI コントローラ
    - MELCO Ultra SCSI IFC-USP
    - USB Bridge Module
  - キーボード
  - サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ
  - システム デバイス
  - ディスク ドライブ
  - ディスプレイ アダプタ
  - ネットワーク アダプタ
  - ハード ディスク コントローラ
  - フロッピー ディスク コントローラ
  - ポート (COM / LPT)
  - マウス

プロパティ(R)　更新(F)　削除(E)　印刷(N)...

OK　キャンセル

［SCSIコントローラ］に［USB Bridge Module］が追加されます。

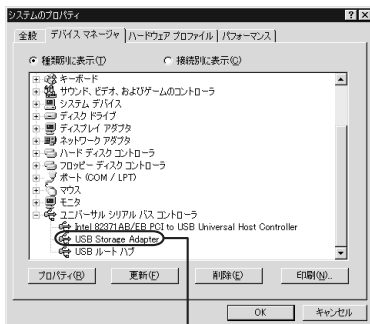
システムのプロパティ

全般 | デバイス マネージャ | ハードウェア プロファイル | パフォーマンス

◉ 種類別に表示(T)　○ 接続別に表示(C)

- キーボード
- サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ
- システム デバイス
- ディスク ドライブ
- ディスプレイ アダプタ
- ネットワーク アダプタ
- ハード ディスク コントローラ
- フロッピー ディスク コントローラ
- ポート (COM / LPT)
- マウス
- モニタ
- ユニバーサル シリアル バス コントローラ
  - Intel 82371AB/EB PCI to USB Universal Host Controller
  - USB Storage Adapter
  - USB ルート ハブ

プロパティ(R)　更新(F)　削除(E)　印刷(N)...

OK　キャンセル

［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］に［USB Storage Adapter］が追加されます。

Macintoshでのセットアップ手順

CDRWを接続します。

⚠注意 **接続前に必ずMacCDRをインストールしてください。MacCDRをインストールしないと、CDRWにセットしたCDがマウントされません。**

1 付属のUSBケーブルをCDRWのUSBコネクタに接続します。

USBケーブルの2つのコネクタは、それぞれ形状が異なります。形状をよく確認して接続してください。

<USBケーブルのコネクタ形状>

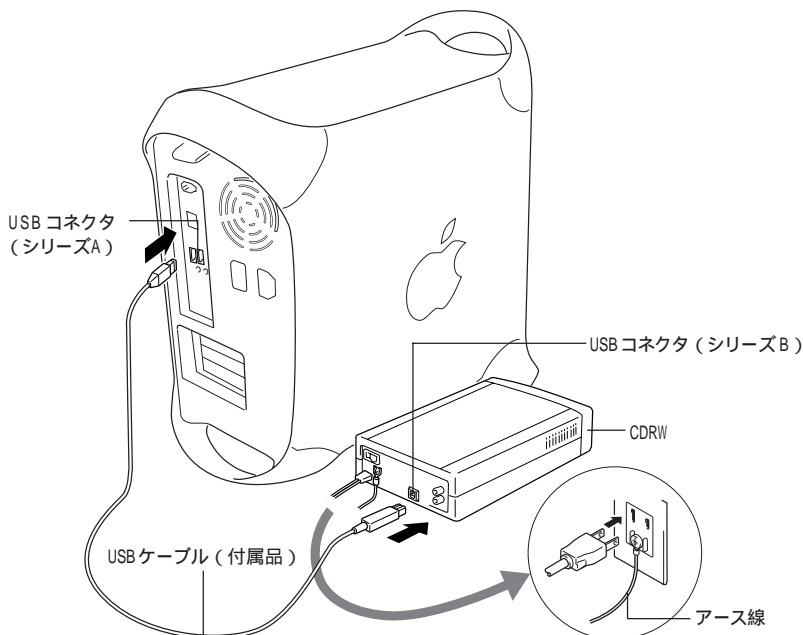
シリーズA（パソコン側に接続）　シリーズB（CDRWに接続）

2 CDRWの電源コードをコンセントに接続します。

3 CDRWの電源スイッチをONにします。

4 パソコンの電源スイッチをONにします。

5 パソコンのUSBコネクタ（シリーズA）にUSBケーブルを接続します。

⚠注意 **CDRWは必ずパソコンのUSBコネクタに接続してください。USBハブには接続しないでください。**

以上でCDRWの接続は完了です。

3 取り扱いかた

CDRWの基本的な操作方法を説明します。

使用時の注意

- USB用ケーブルなどのコネクタ接続部を無理に引っぱったり、強い力を加えたりしないでください。破損の原因になります。
- CDRWはホットプラグに対応しています。
  CDRWやパソコンの電源スイッチがONの時でもUSBケーブルを抜き差しできます。

  ⚠注意 CD-Rメディアにアクセスしているとき（アクセスランプが点灯しているとき）は、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。CD-Rメディア内のデータが破損するおそれがあります。

MacCDRが起動しているときは、絶対にUSBケーブルを取り外さないでください。MacCDR起動中にUSBケーブルを取り外すとシステムが不安定になります。USBケーブルを取り外す前に、必ずMacCDRを終了してください。

- CDRWを不安定な場所（平らでない場所、傾いた場所など）に設置しないでください。
- CDRWの上に物を置かないでください。
- USBケーブルを抜く前に、CDRWからCDを取り出してください。
  CDRWがパソコンに接続されていないときは、CDRWのイジェクトボタンが動作しません。USBケーブルを抜いた状態でCDを取り出したいときは、クリップを伸ばした物などをイジェクトホールに差し込んで取り出してください。【P20】
- メディアへの書き込み中やCDの再生中にCDRWを動かしたり、振動の多いところで使用したりしないでください。

メディアの取り扱いに関する注意

メディアは繊細です。わずかな傷や汚れの付着によっても正常に書き込めなくなるおそれがあります。取り扱いには十分注意し、次の事項を必ず守ってください。

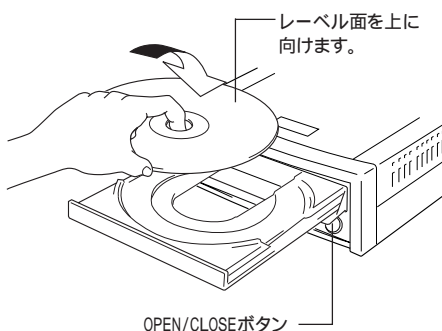
- 直射日光に長時間さらさないでください。
- 記録面に手を触れないでください。
- 記録面にゴミやほこりなどが付着しているときは、市販のダストクリーナーで除去してください。
- シールやラベルなどを貼らないでください。
- メディア同士を重ねないでください。
- レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなど先の硬い筆記具は使用しないでください。
- メディアに傷を付けないでください。

CDのセット／取り出し

● CDをセットする

① パソコンとCDRWの電源スイッチをONにします。
② パソコンとCDRWをUSBケーブルで接続します。
③ OPEN/CLOSEボタンを押してトレーを出します。
④ トレーにCDを載せます。
⑤ もう一度OPEN/CLOSEボタンを押してトレーを戻します。

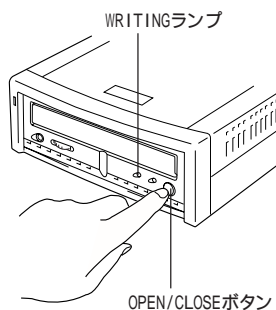
⚠注意 CDをセットする前に、USBケーブルでCDRWとパソコンを接続してください。

レーベル面を上に向けます。

OPEN/CLOSEボタン

● CDを取り出す

Windows搭載パソコンの場合は、OPEN/CLOSEボタンを押してトレーを出し、CDを取り出します。
もう一度OPEN/CLOSEボタンを押してトレーを戻します。
Macintoshの場合は、デスクトップに表示されているCDのアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップします。トレーが出てきたらCDを取り出し、OPEN/CLOSEボタンを押してトレーを戻します。
ライティングソフトウェアの操作でもトレーを出せます。

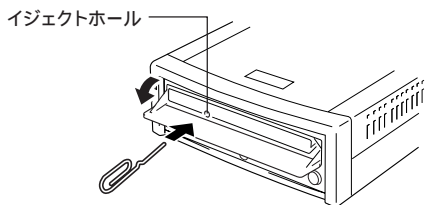
⚠注意
- WRITINGランプ（オレンジ色）が点灯または点滅しているときは、絶対にOPEN/CLOSEボタンを押さないでください。CDやCDRWが破損するおそれがあります。
- WinCDRを起動しているときは、OPEN/CLOSEボタンを押してもトレーは排出されません。その場合は、WinCDRでイジェクト操作を行ってください。

WRITINGランプ

OPEN/CLOSEボタン

● トレーが出ないとき

停電などによって、CDが入ったままの状態で電源が切れてしまうと、OPEN/CLOSEボタンを押してもトレーが排出されません。
その場合は、トレーのふたの端に爪を差し込んで開き、クリップを伸ばしたものなどをイジェクトホールに差し込んで、強制的にトレーを排出させます。

⚠注意 この操作は、CDRWの電源スイッチをOFFにして30秒以上待ってから行ってください。電源スイッチをOFFにした直後はCDが回転しているため、強制的に排出すると、CDが破損するおそれがあります。

イジェクトホール

4 書き込みと読み出し

CD-R/RW メディアへの書き込みと読み出しについて説明しています。

書き込みを失敗しないために

書き込みを失敗しないために、書き込みの前に次の設定を行ってください。
設定を行わないと、書き込み中に「データ転送が間に合いませんでした」というメッセージが表示され、バッファアンダーラン(*)と呼ばれる書き込みエラーが発生します。

バッファアンダーランを防ぐために、書き込みを始める前に次の設定を行ってください。

* 書き込み中に CDRW のバッファが空になり、正常に書き込めなくなる現象。書き込み中に CPU に負荷のかかる作業が行われたときなどに発生します。

バッファアンダーランの発生した CD-R メディアは書き込みも読み出しもできなくなりますが、「WinCDR」や「MacCDR」のリペア機能で復旧処理を行えば、残りの容量への書き込みや読み出しが可能になることがあります。詳しくは「WinCDR ユーザーガイド」または「MacCDR ユーザーガイド」を参照してください。

CD-RW メディアの場合は、バッファアンダーランが発生してもメディアを初期化することで、全容量が使用できるようになります。

● **MacCDRでは2倍速(×2)で書き込んでください。**
4倍速(×4)以上ではバッファアンダーランが発生し、書き込めません。

● **ハードディスクの空き容量を確認しておいてください。**
800MB以上の空き容量を確保することをおすすめします。空き容量が少ない場合は、不要なファイルを削除するか、新しくハードディスクを増設してください。

● **スクリーンセーバーなどの自動的に起動するプログラムは、すべて終了してください。**
付属のライティングソフトウェア「WinCDR」を起動すると、本製品でのCDの自動再生(オートラン)機能が自動的に無効になります。

● **ライティングソフトウェア以外のアプリケーションを起動しないでください。**
起動しているアプリケーションはすべて終了してください。

● **パソコン本体の省電力モードを無効にしてください。**
レジューム機能、スリープ機能などは使用しないでください。

● **書き込み中は、ネットワークを接続しないことをおすすめします。**
外部からのアクセスによってCPUに負荷がかかり、書き込みが失敗することがあります。
LANなどのネットワーク環境に接続して書き込みが失敗するときは、ネットワークに接続しないように設定を変更し、パソコンを再起動してください。

● **書き込み動作確認メディア**
弊社で書き込み動作を確認したCD-R/RWメディアは次のとおりです。詳しくはカタログを参照してください。
- **CD-RWメディア ..... RICOH、三菱化学、TDK、日立マクセル**
- **CD-Rメディア ...... 太陽誘電、RICOH、三井化学、富士FILM、SONY、イメーション、TDK、PHILIPS、三菱化学、日立マクセル、KODAK、パイオニア**

書き込み

メディアにデータを書き込むときは、CDRW付属のライティングソフトウェア「WinCDR」「MacCDR」のいずれかを使用します。
ライティングソフトウェアのインストール方法は、各ソフトウェアのユーザーガイドを参照してください。

⚠注意
- 著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。CDRWを使用して複製するときは、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。
- WinCDR、MacCDRで書き込んだメディアには、他のライティングソフトウェアでは追記できません。

メモ
- CD-RWメディアやCD-Rメディアへの書き込み速度は、4倍速と2倍速が選択できます。
- CDRWの最大読み込み速度は6倍速です。WinCDRやMacCDRで読み込み速度を8倍以上に設定しても、6倍速以上では読み込めません。6倍速で読み込みたいときは、8倍速（×8）を設定してください。

WinCDR、MacCDRの操作方法や製品情報は、「株式会社アプリックス　ユーザーサポート」までお問い合わせください。【「WinCDRユーザーガイド」または「MacCDRユーザーガイド」の1ページ参照】

CDRWの操作方法や製品情報は、株式会社メルコ　インフォメーションセンターまでお問い合わせください。【本書の裏表紙参照】

ライティングソフトウェアの特徴

● WinCDR

- 対応OSはWindows98です。
- ディスクアットワンスでの書き込みが可能なので、プレス用のマスターCDが作成できます。
- CDのバックアップが可能です。CD-ROMドライブから直接バックアップするオンザフライバックアップと、CDRW1台だけでも可能な方法（ハードディスクにCDのイメージを作成する方法）があります。

  ※詳しい方法は、別冊「WinCDRユーザーガイド」を参照してください。

- WinCDRで作成したメディアは、Macintoshでも読み出せます。

  ※ただし、アプリケーションなど、ソフトウェア上互換性のないものを除きます。

  ※ボリュームラベルとして使用できる文字は、0～9およびA～Z（大文字）です。

⚠注意 本製品の仕様により、WinCDRの設定ダイアログボックス（*）で［ｺﾋﾟｰ許可］を選択できません。

* ［ｺﾋﾟｰ許可］が含まれるダイアログボックスは、WinCDRのメイン画面で次のメニューを選択すると表示されます。

- ［設定］ー［基本設定］
- ［設定］ー［ﾄﾗｯｸ設定］

● MacCDR

- Macintosh用のライティングソフトウェアです。
- ディスクアットワンスでの書き込みが可能なので、プレス用のマスターCDが作成できます。
- CDのバックアップが可能です。CD-ROMドライブから直接バックアップするオンザフライバックアップと、CDRW1台だけでも可能な方法（ハードディスクにCDのイメージを作成する方法）があります。

  ※詳しい方法は、別冊「MacCDRユーザーガイド」を参照してください。

- HFS（Apple専用ファイルシステム）とHybrid（ISO9660とHFSフォーマットの混在フォーマット）での書き込みが可能です。

  ※Hybrid形式で作成したCDは、MacintoshとWindowsの両方で読み出せます。

ライティングソフトウェアの対応する機能

○：対応　－：非対応

	WinCDR (Windows98)	MacCDR (Macintosh)
ISO9660（CD-ROMの標準ファイルフォーマット）	○	○
CD-DA（音楽CDフォーマット）	○	○
Mixed Mode CD（CD-DAとデータの混在フォーマット）	○	○
CD-ROM XA（ビデオ、テキスト、音楽の混在フォーマット）	○	○
フォトCD（フォトCDイメージファイル）	○	○
CD-ROM　Mode1	○	○
CD Extra	○	○
マルチセッションサポート（追記記録方式）	○	○
ディスクアットワンス	○	○
トラックアットワンス（追記記録方式）	○	○
セッションアットワンス	○	○
バーチャルイメージからのオンザフライ書き込み ・中間ファイルを作成せず、CDイメージをリアルタイムで書き込む	○	○
ハードディスク上でのISOイメージ作成 ・CDイメージをハードディスクに作成してからCDへ書き込むので、CDへ書き込む容量と同じ容量のハードディスクが必要	○	○
CDを作成する前の書き込み前のテスト	○	○
ロングファイル名サポート	○	○
Joliet（DOS名と64文字までのファイル名）	○	－
DOSファイル名（8.3）	○	－
ISO9660レベル1標準（8.3）	○	○
HFS（Apple専用ファイルシステム）	－	○
Hybrid（ISO9660＋HFS）	－	○

書き込み方式

CDRW付属のライティングソフトウェア「WinCDR」と「MacCDR」は次の書き込み方式に対応しています。
メディアの使用目的に応じて書き込み方式を選択してください。【P22「ライティングソフトウェアの特徴」】

● ディスクアットワンス方式
- リードインからリードアウトまでを1回で書き込む。
- 1枚のCD-RWメディア、もしくはCD-Rメディアに対して1回だけ書き込みができる（容量が残っていても追記できない）。
- CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。
- CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。

メモ　書き込み時に、WinCDRでは「Disc at once/Session at once」を、MacCDRでは「Disc At Once」を選択すれば、ディスクアットワンス方式で書き込めます。

●トラックアットワンス方式
- ディスク容量に空きがある限り、何度でも追記が可能。
- CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

⚠注意　**1回書き込むごとにリードアウトとリードインが書き込まれるため、約13〜23MBが余分に消費されます。また、「追記禁止」に設定して書き込みをすると、以降はそのCD-R/RWメディアには追記できなくなります。**

メモ　書き込み時に「Track at once」を選択すれば、トラックアットワンス方式で書き込めます。

● セッションアットワンス方式
- CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。
- CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

メモ　音楽データとファイルデータをCD Extra形式で書き込む際に、WinCDRでは「Disc at once/Session at once」を、MacCDRでは「Disc At Once」選択すると、自動的にセッションアットワンス方式で書き込まれます。

CD-RWの制限事項

● CD-RWでは、1000回以上のデータの書き換えが可能です。

● データを消去したいときは、1枚のCD-RWメディア全体を初期化します。セッション単位、ファイル単位、フォルダ単位では消去できません。初期化はライティングソフトウェアで行います。

● CD-ROMに比べて反射率が低いため、CD-RWに対応したドライブでないと読み出せません。
CD-RWに対応していないCD-ROMドライブや音楽CD用プレーヤーでは、データを読み出せません。
CD-RW対応の弊社製ドライブ（2000年7月現在）は次のとおりです。

CRWS-SB1210
CRWI-B1210FB、104FB
CDRW-S124、S124FB、S8432、I8432FB、
S8432/A、S8220、S8220FB、S8220/A、
S4432、I4432FB、446USB、S4224、
I4224FB、S4224A、S4224W、S4220FB、
S226
CDR-S820、S820FB、S820A、I420/IM、
S412、S412FB、S412A、P46USB、P420
DVD-RAM5.2GT、RAM5.2G、RAM5.2G/A、
RAMT5.2G
DVD-ROM12FB、ROM6FB、ROM5FB
CDS-S40、S35SL、S24SL、S24
CDI-48FB、40FB、32FB、24FB
CDN-D24VA、D24EX、D12EX

※ 使用しているCD-ROMドライブがCD-RWに対応しているかどうかは、パソコン本体のメーカまたはCD-ROMドライブのメーカにお問い合わせください。

読み出し

CDRWは、CD-ROMドライブと同じようにCD-ROMの読み出しや音楽CDの再生ができます。

次のフォーマット形式を読み出せます。

- 音楽CD（CD-DA）
- CD Extra
- Photo CD（*）
- CD-ROM（Mode1）
- CD-ROM XA Mode2（Form1、Form2）
- Video CD

* 読み出しには、再生用ソフトウェアが別途必要です。

5 音楽CDを聴くには

CDRW にオーディオ機器を接続すれば、音楽 CD の演奏が楽しめます。

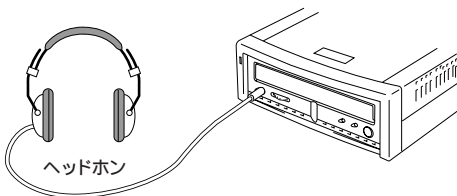
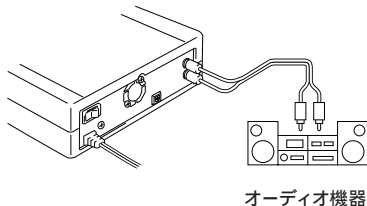
オーディオ機器の接続

次の図のように接続してください。

ヘッドホンの場合

ヘッドホン

スピーカやステレオの場合

オーディオ機器

⚠注意 大きな音量で長時間ヘッドホンを使用すると、聴覚障害の原因になります。

再生のしかた

⚠注意 事前に CDRW のヘッドホン用ボリュームを下げておいてください。

WinCDR 付属の CD プレーヤー

[スタート]－[プログラム(P)]－[WinCDR]－[CD プレーヤー]と選択します。

操作方法は、CDプレーヤーのポップアップウィンドウ（操作ボタン上にマウスカーソルを重ねると表示される文字情報）を参照してください。

Windows 付属の CD プレーヤー

[スタート]－[プログラム(P)]－[アクセサリ]－[エンターテイメント]－[CD プレーヤー(＊)]と選択します。

操作方法は、Windows98 のヘルプを参照してください。

* Microsoft社製「Microsoft Plus! 98」がインストールされているときは、[デラックスCDプレーヤー]と表示されます。

Macintosh

OS 付属の「Apple CD オーディオプレーヤー」を使用します。

「Apple CD オーディオプレーヤー」の使用方法は、Mac OS のヘルプを参照してください。

6 付録

困ったときは

CDRWを使用してトラブルが発生したときの原因と対処方法を説明します。

一般的なトラブル

CDRWが認識されない

原因	対処方法
CDRWが正しく接続されていない	USBケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ・Windows搭載パソコン ....【P11】 ・Macintosh ....【P18】
CDRWの電源スイッチがOFFになっている	電源ランプが点灯しているか確認し、点灯していないときは電源スイッチをONにしてください。また、CDRWの電源コードをACコンセントに正しく接続してください。

トレーが排出されない

原因	対処方法
CDRWの電源スイッチがOFFになっている	CDRWの電源スイッチをONにしてください。 停電などによってCDRWの電源が入らないときは、【P20「トレーが出ないとき」】を参照して強制的にトレーを排出してください。
パソコンがCDRWを認識していない	OSの起動しているパソコンにCDRWを接続してください。
パソコンとCDRWの電源スイッチがOFFになっている	パソコンとCDRWの電源スイッチをONにしてください。

読み出し時のトラブル

2回以上書き込むと前のセッションが読み出せない／読み出し時にエラーが発生する

原因	対処方法
書き込み時に最後のセッションを読み込まないように設定している	ライティングソフトウェアで書き込む際に、最後のセッションを読み込まないように設定していると、新しく書き込んだセッションだけが読み出せるようになります。最後に書き込んだセッションも読み出したいときは、最後のセッションを参照するように設定して書き込んでください。
CDが汚れている、または破損している	CDの記録面に傷や汚れが付いていると、正しく読み出せません。ほこりなどが付着しているときは市販のダストクリーナーなどで除去してください。
CDが裏返しになっている	CDを取り出し、CDのレーベル面を上に向けてトレーに載せてください。

CD-RWメディアが読み出せない

CD-ROMドライブがCD-RWメディアに対応していない	CD-RWメディアはCD-ROMに比べ反射率が低いため、CD-RWに対応していないCD-ROMドライブや音楽CD用プレーヤーでは読み出せません。CD-RWメディアに対応したドライブで読み出してください。【P24「CD-RWの制限事項」】

WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSでファイル名が化ける

ロングファイル名を使用したデータを書き込んだ	WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSはロングファイル名に対応していないため、RomeoやJolietで書き込まれたデータはファイル名が化けることがあります。WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSでCDを読み出すときは、DOS名(8+3形式)で書き込んでください。

Photo CDが読み出せない

Photo CDのディスクに欠陥がある	他のPhoto CDが読み出せるか確認してください。読み出せるときは、読めないPhoto CDに欠陥があると考えられます。

作成したVideo CDが再生できない

弊社製MEG-VC1でキャプチャしたデータでVideo CDを作成した	弊社製MPEGキャプチャボードMEG-VC1に付属のソフトウェア「MPEGキャプチャ Ver2.1」以降でキャプチャしたMPEGファイルを使用してください。最新のソフトウェアは、弊社ホームページ【裏表紙参照】からダウンロードできます。

読み出し時に異音がする

CDにシールが貼られている	CDにシールなどを貼っていると、CDの重心が偏り、回転時に振動が発生することがあります。絶対にシールなどを貼らないでください。

オーディオ機器から音楽CDの音声が聴こえない

オーディオケーブルが正しく接続されていない	オーディオ機器やパソコン(またはサウンドボード)のマニュアルを参照して、正しく接続してください。

ヘッドホンから音楽CDの音が聴こえない

ボリュームが最小になっている	CDRW前面のヘッドホン用ボリュームで調整してください。

書き込み時のトラブル

「データ転送が間に合いませんでした」というエラーメッセージが表示される（バッファアンダーランが発生する）

バッファアンダーランの発生したCD-Rメディアは書き込みも読み出しもできなくなりますが、「WinCDR」や「MacCDR」のリペア機能で復旧処理を行えば、残りの容量への書き込みや読み出しが可能になることがあります。詳しくは、「WinCDRユーザーガイド」または「MacCDRユーザーガイド」を参照してください。
CD-RWメディアの場合は、バッファアンダーランが発生してもメディアを初期化することで、全容量が使用できるようになります。

MacCDRで4倍速以上の速度で書き込んだ	2倍速で書き込んでください。
ネットワークに接続している	ネットワークに接続しない設定にして、Windowsを再起動してください。
他のアプリケーションが起動している	ライティングソフトウェア以外のアプリケーションはすべて終了してください。
パソコンのメモリが不足している	パソコンのメモリ容量が少ないと、バッファアンダーランが発生しやすくなります。メモリを増設してください。
ハードディスクの「オートサーマルリキャリブレーション機能」が働いた	高速ハードディスクには、「オートサーマルリキャリブレーション機能」を装備した機種があります。それらの機種を使用していてバッファアンダーランが発生するときは、他のハードディスクを使用してください。
選択しているCD-Rメディアの書き込み速度がパソコンに対応していない	十分なメモリ容量とCPU速度がない場合、4倍速、2倍速では書き込めません。
ハードディスクの空き容量が不足している	800MB以上の空き容量をハードディスクに確保することをおすすめします。
パソコン本体の省電力モードが働いた	パソコン本体の省電力モード（レジューム機能、スリープ機能など）は使用しないでください。
MP3形式のデータから音楽CDを作成した	MP3オンザフライ書き込みを行うと、CPUに大きな負荷がかかります（解凍しながら作業するため）。バッファアンダーランが発生したときは書き込み速度を下げてください。

CD-R/RWメディアにデータを書き込めない

ライティングソフトウェアを使用していない	CDRW付属のライティングソフトウェアを使用してください。
CD-ROM、音楽CD（CD-DA）がセットされている	CD-R/RWメディアにだけデータを書き込めます。CD-ROMや音楽CD（CD-DA）などには書き込めません。
CDRWの電源が入っていない	CDRWに電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
USBケーブルが正しく接続されていない	CDRWを含むUSB機器にUSBケーブルを正しく接続してください。

バッファアンダーランの発生したCD-R/RWメディアを使用している	バッファアンダーランの発生したCD-Rメディアは書き込みも読み出しもできなくなりますが、「WinCDR」や「MacCDR」のリペア機能で復旧処理を行えば、残りの容量への書き込みや読み出しが可能になることがあります。詳しくは、「WinCDRユーザーガイド」または「MacCDRユーザーガイド」を参照してください。 CD-RWメディアの場合は、バッファアンダーランが発生してもメディアを初期化することで、全容量が使用できるようになります。

CD-R/RWメディアに追記できない

ライティングソフトウェアが違っている	ソフトウェアの仕様により、前回書き込みをしたライティングソフトウェアを使用しないと、追記できません。前回使用したライティングソフトウェアで書き込んでください。
メディアの容量が足りない	新しいメディアに書き込んでください。
他社製のCD-R/RWドライブで書き込んだメディアを使用している	他社製のCD-R/RWドライブで書き込んだメディアには追記できません。CDRWで書き込んだメディアを使用してください。
バッファアンダーランの発生したメディアを使用している	バッファアンダーランの発生したCD-Rメディアは書き込みも読み出しもできなくなりますが、「WinCDR」や「MacCDR」のリペア機能で復旧処理を行えば、残りの容量への書き込みや読み出しが可能になることがあります。詳しくは、「WinCDRユーザーガイド」または「MacCDRユーザーガイド」を参照してください。CD-RWメディアの場合は、バッファアンダーランが発生してもメディアを初期化することで、全容量が使用できるようになります。
トラックアットワンス書き込み時に「追記禁止」を選択している	ライティングソフトウェアで「追記禁止」に設定して書き込むと、書き込んだセッションが閉じられ、それ以降は追記できなくなります。別のメディアにデータを書き込んでください。

4倍速で書き込みができない

メディアが対応していない	4倍速書き込みに対応したメディアを使用してください。
バッファアンダーランが発生する	【P29「「データ転送が間に合いませんでした」というエラーメッセージが表示される」】を参照してバッファアンダーランを解消してください。
メディアが傷ついたり汚れが付着している	メディアが傷ついたり、ほこりや汚れが付着している可能性があります。他のメディアでもう一度書き込んでみてください。
ライティングソフトウェアがCDRWに対応していない	CDRWに付属しているライティングソフトウェアを使用してください。付属品以外のライティングソフトウェアを使用するときは、ソフトウェアのメーカに対応しているかどうかお問い合わせください。

音楽CDをキャプチャしたデータにノイズや音飛びが発生する

音楽CDを再生したCD-ROMドライブが対応していない	CD-ROMドライブによっては、正常に音楽CDをキャプチャできないものがあります。その場合は、CDRWで音楽CDを再生してキャプチャしてください。
読み込み速度が適切でない	音楽CDによっては、汚れや小さな傷などによって、高速での読み込み時にノイズが発生することがあります。その場合は読み込み速度を1倍速に設定してください。設定方法は「WinCDRユーザーガイド」または「MacCDRユーザーガイド」を参照してください。
音楽CDに傷がある	音楽CDの傷が原因で音飛びが発生することがあります。

書き込み時に「書き込み後コンペア」の項目を選択できない

音楽CDを書き込んでいる	音楽CDの書き込み時は、オンザフライでの書き込みやコンペアは行えません。そのため、これらの項目はグレー表示され、選択できません。

オンザフライ方式でCDのバックアップができない

CD-ROMドライブがオンザフライ方式に対応していない	CD-ROMドライブによっては、オンザフライ方式でCDのバックアップができないことがあります。その場合は、CDRWにCDをセットしてバックアップを行ってください。

HFSフォーマットで書き込み時に「なんらかのエラーが発生しました」と表示される

MacCDRの環境設定で「ブータブルCDを作成」を選択していると、HFSフォーマットでの書き込み時に、「なんらかのエラーが発生しました」とメッセージが表示されることがあります。機能的には問題ありませんので、メッセージを無視して書き込み処理を続行させてください。

PowerMac G4で仮想ボリュームへのコピーができない

弊社製SCSIインターフェースボード「IFC-WSPA」をご使用になっている場合、HFSフォーマットで仮想ボリュームへのコピー(書き込み前の準備作業)中にシステムが不安定になることがあります。このようなときは、仮想メモリの設定を“ON”にしてご使用ください。

DVD-RAMドライブから音楽CDを読み出せない

DVD-RAMドライブ(弊社製DVD-RAM5.2GTなど)にセットした音楽CDからWAVEデータを作成する場合、音楽データが読み出せないことがあります。この場合はCDRWに音楽CDをセットし、CDRWから音楽データを読み出してください。

Windows、Mac OSの再セットアップに関して

本製品などのUSB接続のドライブを使用して、WindowsやMac OSを再セットアップすることはできません。再セットアップには、パソコン本体のCD-ROMドライブなどを使用してください。

仕様

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（http://www.melcoinc.co.jp/）を参照してください。

インターフェース		USB
準拠規格		USB Specification Rev1.1
コネクタ		USB シリーズB
アクセスタイム（平均）		125msec（ランダムアクセス時）
データバッファサイズ		2MB
転送速度	書き込み	Windows：600KB/sec(4倍速)、300KB/sec(2倍速) Mac OS ：300KB/sec(2倍速)
	読み出し	最大900KB/s（6倍速）
サイズ		164(W)×63(H)×295(D)mm
重量		1.6kg
消費電力		平均：13W　　最大：22W
動作環境	温度	5～35℃
	湿度	8～80%（結露無きこと）
対応機種		USBインターフェースを標準搭載する次の機種 ・DOS/V機（OADG仕様）(*) ・NEC製 PC98-NXシリーズ（*） ・Apple社製 iMac ・Apple社製 PowerMac G3/G4 ・Apple社製 iBook ・Apple社製 PowerBook
対応OS		・Windows98 ・Mac OS8.6以降

* USBインターフェースを搭載していない機種をお使いの場合は、弊社製 USBインターフェースボードUCI-P2を別途お買い求めいただき、パソコンに取り付けてください。

■保証書について

本製品付属の保証書には保証期間と保証規定が記載されています。内容をお確かめになり、大切に保管してください。

■ ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとして登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。
※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

■ 修理について

故障と思われる症状が発生したときは、まずマニュアルを参照して設定や接続が正しいか確認してください。改善されない場合は、次の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付し、弊社修理センター宛に製品を直接お送りください。

① 返送先 ［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
② 平日昼間の連絡先
［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状/エラーメッセージ
⑦ 発生状況 ［始めから/ある日突然/環境を変えたら］
⑧ 発生頻度 ［必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他］
⑨ コンピュータ ［本体メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑩ ハードディスク ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑪ ディスプレイ ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑫ その他周辺機器 ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑬ OS(オペレーティング・システム)
［ソフト名/メーカ名/バージョン］
⑭ 製品以外の添付品 ［付属ソフトなど］

製品送付先	〒456-0023 名古屋市熱田区六野2-1-3 中京倉庫内33号6階 株式会社メルコ 修理センター宛
電話番号	052-889-2104

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。
※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。
※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。
※ ハードディスクをお送りいただいた場合、そのハードディスクはフォーマットいたします。必要なデータは事前にバックアップを作成しておいてください。
※ 修理期間は、製品の到着後7日程度（弊社営業日数）を予定しております。

■ WinCDR、MacCDRのサポートについて

付属のお客様登録カードに、必要事項をご記入の上、必ず郵送してください。また、WinCDR、MacCDRの操作方法や製品情報は、「株式会社アプリックス　ユーザサポート」までお問い合わせください。
【「WinCDRユーザーガイド」または「MacCDRユーザーガイド」の1ページ参照】

※ 株式会社メルコでは、WinCDR、MacCDRに関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

CDRW-446USBユーザーズマニュアル

2000年7月7日 第2版発行
発行　　株式会社メルコ

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

インターネット

http://www.melcoinc.co.jp/

（ミラーサーバ　http://www.melcoinc.com/）

@nifty

MELCO Station ＜GO SMELCO＞

製品サポート

インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15 株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

ストレージ製品専用ダイヤル

＜東　京＞ 03-5350-7990

月～金　9:30～12:00/13:00～19:00　※祝日を除く

土/祝　9:30～12:00/13:00～17:00　※日曜日を除く

＜名古屋＞ 052-619-1188

月～金　9:30～12:00/13:00～17:00　※祝日を除く

※事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。

- ・コンピュータ名と使用OS
- ・本製品の製品名とシリアルナンバー
- ・設定内容（スイッチ設定など）
- ・現象（具体的なエラーメッセージなど）